

ホテルサイプレス軽井沢 宿泊約款

(適用範囲)

第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

(1) 宿泊者名

(2) 宿泊日及び到着予定時刻

(3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による)

(4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限りります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

(1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。

(2) 満室により客室の余裕がないとき。

(3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。

(4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という)、暴力団準構成員又は暴力団関係者、その他の反社会的勢力

ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

(5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。

(7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

(8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(9) 宿泊しようとする者が、泥酔し、又は言動が著しく異常で他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日24時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

(6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(7) 宿泊しようとする者が、泥酔し、又は言動が著しく異常で他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。

(8) 客室館内での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。

2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業

(2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日

(3) 出発日及び出発予定時刻

(4) その他当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

(1) 超過2時間までは、追加料金1名当たり1,000円

(2) 超過2時間以上は、該当日の宿泊料金100%

(利用規約の遵守)

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規約に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

【フロント・フロントサービス】 24時間

【レストラン】 朝食 7:30-9:00 夕食 18:00-22:00(最終入店 19:00)

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2. 前項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、前条第1項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

(言語)

第19条 本約款は日本語で作成されているものです。他言語への翻訳版との間に不一致又は何らかの矛盾がある場合、すべて日本語版が優先されるものとします。

【別表第1】

宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料(室料+飲食) ※サービス料10%を含みます。
	追加料金	①. 飲食料(宿泊料金に含まれるものを除く) ②. 超過室料 ③. その他オプション利用料金 ※サービス料10%を含みます。
	税金	消費税

備考

- (1) 基本宿泊料はフロントの提示する料金表によります。
- (2) 子供料金は小学生以上大人と同料金を適用、未就学児(0歳~6歳)においては、寝具のみを提供したときは1名あたり3,000円、寝具を提供しない場合は無料とします。

【別表第2】

違約金(第6条第2項関係)

		不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	14名まで	100%	80%	20%	—	—
団体	15~99名まで	100%	80%	20%	10%	—
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

備考

- (1) %は、宿泊料金(税込)に対する違約金です。
- (2) 契約日数が短縮した場合、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を收受します。
- (3) トラベル・エージェント経由でご予約された場合、各トラベル・エージェントの宿泊違約金算出基準に従って宿泊違約金が発生致します。
- (4) 宿泊契約ごとに特約がある場合にはそちらに従うことといたします。

Hotel Cypress Karuizawa

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article1 – Scope of Application

01.01. Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between the Hotel and the guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions and any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

01.02. In the case where the Hotel has entered into a special contract with the guest insofar as such special contract does not violate such laws and regulations and practices, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the special contract shall take precedence.

Article2 – Application for Accommodation Contract

02.01. A person who intends to submit an application for an accommodation contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation charges (based, in principal, on the Basic Accommodation Charges in Appended Table I);
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

02.02. If the guest requests, during his/her stay, extension of the accommodation beyond the date specified in item (2) of the preceding paragraph, the Hotel shall treat such request as an application for a new accommodation contract at the time such request is made.

Article3 - Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

03.01. An accommodation contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as prescribed in the preceding Article; provided, however, that the same shall not apply if it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

03.02. If an accommodation contract is concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the guest is required to pay an accommodation deposit specified by the Hotel up to the basic accommodation charges covering the guest's entire period of stay (3 days if such period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

03.03. The deposit shall be first used for the total accommodation charges to be paid by the guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of accommodation charges as prescribed in Article 12.

03.04. If the guest fails to pay the deposit as prescribed in paragraph 2 by the date specified by the Hotel under paragraph 2, the Hotel shall treat the accommodation contract as invalid; provided, however, that the same shall apply only in the case where the guest is thus informed by the Hotel when specifying the date of payment of the deposit.

Article4 – Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

04.01. Notwithstanding the provisions of paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit as prescribed in the same paragraph after the contract has been concluded.

04.02. If the Hotel has not requested the payment of the deposit as prescribed in paragraph 2 of the preceding Article or has not specified the date of payment of said deposit when accepting the application for an accommodation contract, it shall be treated as if the Hotel has accepted such special contract prescribed in the preceding paragraph.

Article5 – Refusal of Accommodation Contracts

05.01. The Hotel may not accept the conclusion of an accommodation contract in any of the following cases

- (1) If the application for accommodation does not conform to the provisions of these Terms and Conditions.
- (2) If the Hotel is fully booked and no room is available.
- (3) If the guest seeking accommodation is deemed to be likely to engage in any act in violation of laws and regulations or against public order and morals in connection with his/her accommodation.

(4) If the guest seeking accommodation is deemed to fall under any of the following items.

a) An organized crime group as prescribed in Article 2, item (2), of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an "Organized Crime Group"), an Organized Crime Group member as prescribed in Article 2, item (6), of the said Act (hereinafter referred to as an "Organized Crime Group Member"), a quasi-Organized Crime Group Member or a person affiliated with an Organized Crime Group or any other antisocial forces.

b) A corporation or other group whose business operations are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member; or

c) A corporation any of whose directors is an Organized Crime Group Member.

(5) If the guest seeking accommodation behaves in such a manner as to cause significant annoyance to other guests of the Hotel.

(6) If the guest seeking accommodation is obviously considered to be a patient with an infectious disease.

(7) Violent demands are made to the Hotel or a burden beyond a reasonable extent is requested to the Hotel in connection with accommodation.

(8) If the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disasters, failure of the facilities or any other unavoidable reasons; or

(9) The guest seeking accommodation is intoxicated or is behaving in a significantly unusual manner and is thereby likely to cause annoyance to other guests of the Hotel.

Article6 – Guest's Right to Cancel Contracts

06.01. The guest may cancel the accommodation contract by so notifying the Hotel.

06.02. If the guest cancels the accommodation contract in whole or in part due to any causes attributable to the guest (except for the cases where the Hotel has requested the payment of the accommodation deposit by the payment due date specified by the Hotel in accordance with the provisions of paragraph 2 of Article 3 and the guest has canceled the accommodation contract prior to the payment thereof), the guest shall pay cancellation charges as stated in Appended Table II; provided, however, that if the Hotel has entered into the special contract as prescribed in paragraph 1 of Article 4, the same shall apply only when the Hotel has notified the guest of his/her obligation to pay the cancellation charges upon the cancellation of the accommodation contract by the guest when entering into such special contract.

06.03. If the guest fails to appear by 24:00 of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of such time in advance) without notice, the Hotel may regard the relevant accommodation contract as being cancelled by the guest.

Article7 – Hotel's Right to Cancel Contracts

07.01. The Hotel may cancel an accommodation contract with the guest in any of the following cases:

- (1) If the guest is deemed to be likely to engage or has engaged in any act in violation of laws and regulations or against public order and morals in connection with his/her accommodation.

(2) If the guest is deemed to fall under any of the following items:

- a) An Organized Crime Group, an Organized Crime Group Member, a quasi-Organized Crime Group Member or a person affiliated with an Organized Crime Group or any other antisocial forces;
- b) A corporation or other group whose business operations are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member; or
- c) A corporation any of whose directors is an Organized Crime Group Member;

(3) If the guest behaves in such a manner as to cause significant annoyance to other guests of the Hotel

(4) If the guest is obviously considered to be a patient with an infectious disease;

(5) Violent demands are made to the Hotel or a burden beyond a reasonable extent is requested to the Hotel in connection with accommodation;

(6) If the Hotel is unable to provide accommodation due to any event arising out of natural disasters or other force majeure;

(7) If the guest seeking accommodation is intoxicated or is behaving in a significantly unusual manner and is thereby likely to cause annoyance to other guests of the Hotel; or

(8) If the guest fails to observe the prohibitions, such as smoking in guest rooms or Hotel buildings, tampering with the fire-fighting equipment and the like, and other prohibitions as prescribed in the Hotel's Rules of Use (limited to those necessary to prevent fire)

07.02. If the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the guest for any of the accommodation or other services that have not been provided to the guest.

Article8 – Registration of Accommodation

08.01. The guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the guest(s);
- (2) Nationality, passport number, port and date of entry into Japan for non-Japanese guest(s);
- (3) Date and estimated time of departure; and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

08.02. If the guest intends to pay his/her accommodation charges prescribed in Article 12 by any means other than cash in Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, such means of payment shall be presented in advance at the time of the registration prescribed in the preceding paragraph.

Article9 – Occupancy Hours of Guest Rooms

09.01. The guest is entitled to occupy the guest room of the Hotel from 15:00 to 10:00 the next morning; provided, however, the guest who stays continuously for two or more nights may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

09.02. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the Hotel may permit the guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the preceding paragraph. In this case, the extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 2 extra hours: 1,000 yen per person.
- (2) More than 2 extra hours: 100% of the accommodation charge on the day concerned.

Article10 – Observance of Rules of Use

10.01. In the Hotel, guests shall observe the Rules of Use established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article11 – Business Hours

11.01. The business hours of the major facilities, etc. of the Hotel shall be as follows and those of other facilities, etc. shall be specified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and by other means.

[Front desk / front desk services] 24-hour service

[Restaurant] Breakfast 7:30 to 9:00, Dinner 18:00 to 22:00 (Last entry 19:00)

11.02. The business hours specified in the preceding paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable reasons. In such case, guests shall be so informed by appropriate means.

Article12 – Payment of Charges

12.01. The breakdown of the accommodation charges and other charges to be paid by the guest shall be as per Appended Table I.

12.02. Accommodation charges and other charges prescribed in the preceding paragraph shall be paid with cash in Japanese currency or by any means other than cash in Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the guest or upon request by the Hotel.

12.03. Accommodation charges shall be paid even if the guest voluntarily elected not to be accommodated in the guest room that has been provided and made available for him/her by the Hotel.

Article13 – Responsibility of Hotel

13.01. The Hotel shall compensate the guest for any damage that the Hotel has caused to the guest in the course of the performance of, or due to its failure to perform, the accommodation contract and related agreements; provided, however, that the same shall not apply if such damage is caused due to any event not attributable to the Hotel.

13.02. The Hotel is covered by the hotel liability insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Article14 – Handling When Unable to Provide Contracted Rooms

14.01. If the Hotel is unable to provide contracted rooms to the guest, the Hotel shall arrange other accommodations of the same standard insofar as it is practicable with the consent of the guest.

14.02. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the Hotel is unable to arrange other accommodations, the Hotel shall pay the guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges, and such compensation fee shall be applied to the reparations; provided, however, that the Hotel shall not pay the compensation fee if the Hotel is unable to provide a guest room due to any event not attributable to the Hotel.

Article15 – Handling of Deposited Articles

15.01. The Hotel shall compensate the guest for any loss, breakage or other damage caused to the articles, cash or valuables deposited at the front desk by the guest, except in the case where such damage is caused due to force majeure; provided, however, that in cases of cash and valuables, the Hotel shall compensate for the damage up to the maximum amount of 150,000 yen unless the guest clearly reported the type and value of such cash and valuables upon the request of the Hotel.

15.02. The Hotel shall compensate the guest for any loss, breakage or other damage caused to the articles, cash or valuables that are brought into the premises of the Hotel by the guest but are not deposited at the front desk if such loss, breakage or other damage is caused due to the willful misconduct or negligence on the part of the Hotel; provided, however, that the Hotel shall compensate for the damage up to the maximum amount of 150,000 yen if the guest has not clearly reported the type and value of such items in advance, except where such damage is caused due to the willful misconduct or gross negligence on the part of the Hotel.

Article16 – Custody of Baggage and Belongings of Guests

16.01. If the baggage of the guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall keep it at its own responsibility only in cases where such request is accepted by the Hotel before the arrival of such baggage, and it shall be handed over to the guest at the front desk at the time of his/her check-in.

16.02. The Hotel’s liability for the custody of the guest’s baggage or belongings under the preceding paragraph shall be in accordance with the provisions of paragraph 1 of the preceding Article.

Article17 – Liability for Parking

17.01. If the guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, the Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the guest, irrespective of whether the key of the vehicle is deposited to the Hotel or not, as the Hotel simply offers the space for parking; provided, however, that the Hotel shall compensate the guest for any damage caused by the willful misconduct or negligence of the Hotel in the course of the management of the parking lot.

Article18 – Liability of Guests

18.01. The guest shall compensate the Hotel for any damage suffered by the Hotel due to willful misconduct or negligence of the guest.

Article19 – Language

19.01. These Terms and Conditions shall be executed in Japanese. In the case of any conflict between the Japanese version and the translated version in any other language, the Japanese version shall take precedence.

Appended Table I Breakdown of Accommodation Charges (Related to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

	Breakdown	
	Accommodation charges	Basic Accommodation Charges (Room Charge + Food and Drink) *Including service charge of 10%.
Extra charges	[1] Food and Drink (except for those included in the Accommodation Charges) [2] Extra Room Charges [3] Other Optional Charges *Including service charge of 10%	
Taxes	Consumption tax	

Remarks

- (1) Basic accommodation charges shall be as per the price list shown at the front desk.
- (2) The child rate for children of elementary school age and older shall be the same rate as the adult rate. For pre-school children (aged 0-6), 3,000 yen shall be charged if receiving bedding only, and those who do not receive bedding are free of charge.

Appended Table II Cancellation Charges (Related to Paragraph 2 of Article 6)

	No Show	Accommodation Day	1 day prior to Accommodation	9 days prior to Accommodation	20 days prior to Accommodation
Individual Guest (from 1 to 14)	100%	80%	20%	None	None
Group Guests (from 15 to 99)	100%	80%	20%	10%	None
Group Guests (100 and more)	100%	100%	80%	20%	10%

Remarks:

- (1) The percentages signify the rate of cancellation charges to the accommodation charges (tax inclusive).
- (2) If the number of days defined in the contract is shortened, the cancellation charges for one (1) day’s accommodation (the first day) shall be paid by the guest, regardless of the number of days shortened.
- (3) If a booking is made via a travel agent, the cancellation charges shall be calculated in accordance with the Cancellation Charges and Calculation Standards of the travel agent.
- (4) If there is a special agreement for each accommodation contract, we will follow it.

飯店住宿條款

(適用範圍)

第 1 条 本酒店和住宿客人之间签订的住宿合同以及其相关合同,均遵守本协议相关规定。对于本协议没有规定的事项,则遵守法律法规及一般约定俗成的习惯。

2. 对于不违反法律法规及一般约定俗成的习惯的前提下签订的特别合同,本酒店则不拘于前项规定,以特别合同为优先。

(住宿合同的申请)

第 2 条 准备和本酒店签订住宿合同的客人,请将下记事项提交给本酒店。

(1) 住宿者姓名

(2) 住宿日及预计到达时间

(3) 住宿费用(原则上按照附件表格第 1 的基本住宿费用)

(4) 其他本酒店认为有必要的事项

2. 当住宿客人在住宿过程中于超过前项第 2 号的住宿日期而申请继续住宿时,本酒店自接到申请时起,将其视作住宿客人准备和本酒店签订新住宿合同。

(住宿合同的成立等)

第 3 条 住宿合同自本酒店接到前条申请并承诺时起成立。但如果本酒店证明并未承诺该合同,则不受此限。

2. 依据前项规定住宿合同成立之时,作为本酒店的定金,需要客人在本酒店指定日期之前支付不超过住宿期间(当超过 3 天时按照 3 天计算)的基本住宿费用。

3. 定金首先充作住宿客人最终需要支付的住宿费用,并且在发生需要适用第 6 条及第 18 条规定的事态时,按顺序充作违约金以及赔偿金,如有差额,则按照第 12 条规定,在支付费用时退还给客人。

4. 如果未能根据前项规定在本酒店指定的日期之前支付第 2 项的定金,住宿合同将失效。但仅限于本酒店将指定定金支付日期之事实告知了住宿客人时。

(无需支付定金的特别合同)

第 4 条 不拘于前条第 2 项规定,本酒店同意签订合同成立后无需支付同项定金的特别合同。

2. 在本酒店承诺住宿合同的申请之际,如本酒店没有要求支付前条第 2 项的定金及没有指定该定金支付日期时,则视为应承了前项的特别合同进行处理。

(拒签住宿合同)

第 5 条 在出现如下所述情况时,本酒店可能会拒绝签订住宿合同。

(1) 住宿申请不遵循住宿协议时

(2) 当客房已满没有空房时。

(3) 当发现预定住宿的客人有可能发生违反法律法规、公共秩序或公序良俗的行为时。

(4) 当发现预定住宿的客人符合以下 A 到 C 条情况时。

A) 关于防止暴力团伙成员进行不当行为等的法律(1991 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号规定的暴力团伙(以下称“暴力团伙”)、同法第 2 条第 6 号规定的暴力团伙成员(以下称“暴力团伙成员”)、暴力团伙准成员或暴力团伙相关者或其他反社会势力

B) 是营业活动受暴力团伙或暴力团伙成员支配的法人或其他团体时

C) 为法人,而其高管、董事中有相当于暴力团伙成员的人员

(5) 预定住宿的客人有给其他住宿客人带来显著困扰的言行时。

(6) 当发现预定住宿的客人明显为传染病患者时。

(7) 当发生和住宿相关的暴力要求行为,或被要求超过酒店合理范围的负担时。

(8) 由于自然灾害、设备故障、其他迫不得已的事由而无法让人住宿时。

(9) 当发现预定住宿的客人酩酊大醉或其言行明显异常,有可能给其他住宿客人带来困扰时。

(住宿客人的合同解除权)

第 6 条 住宿客人有向本酒店提出解除住宿合同的权利。

2. 当出于住宿客人自身事由导致住宿合同的部分或全部解除之际(按照第 3 条第 2 项的规定,本酒店指定了定金的支付日期,并要求支付时,在支付定金之前住宿客人解除了住宿合同的情况除外。),将按照附件表格第 2 所示,要求客人支付违约金。但是,如本酒店应承了第 4 条第 1 项的特别合同时,仅限于在应承该特别合同时,本酒店事先向住宿客人告知了解除住宿合同时义务支付违约金的情况,可以要求支付违约金。

3. 本酒店在住宿客人事先没有联络,而在住宿日当天 24 点(如果事先明确约定了到达时间的情况下,则为该到达时间的 2 小时经过以后)仍然没有到达之时,有可能视为住宿客人自身解除了住宿合同而进行处理。

(本酒店的合同解除权)

第 7 条 在出现如下所述情况时,本酒店可能会解除住宿合同。

(1) 当发现住宿客人在住宿期间有可能发生违反法律法规、公共秩序或公序良俗的行为时,或已经发生了如上行为时。

(2) 当住宿客人符合以下 A 到 C 条情况时。

A) 为暴力团伙、暴力团伙成员、暴力团伙准成员或者暴力团伙相关者或其他反社会势力

B) 是营业活动受暴力团伙或暴力团伙成员支配的法人或其他团体时

C) 法人中有高管、董事中有相当于暴力团伙成员的人员

(3) 住宿客人有给其他住宿客人带来显著困扰的言行时。

(4) 当发现住宿客人明显为传染病患者时。

(5) 当发生和住宿相关的暴力要求行为,或被要求超过酒店合理范围的负担时。

(6) 当发生起因于自然灾害等不可抗力事由而无法让人住宿时。

(7) 当发现预定住宿的客人酩酊大醉或其言行明显异常,有可能给其他住宿客人带来困扰时。

(8) 不遵守本酒店所定的使用条款中的禁止事项(限于防火方面有必要的项),比如在客房场馆内吸烟、破坏消防设备等等。

2. 在本酒店基于前项的规定解除了住宿合同之际,不会向住宿客人收取尚未提供服务的住宿服务等费用。

(住宿登记)

第 8 条 住宿客人需要在住宿日当天,在本酒店的前台登记下记事项。

(1) 住宿客人的姓名、年龄、性别、住所以及职业

(2) 如为外国人,需要登记国籍、护照号码、入境地点以及入境日期

(3) 出发日及预计出发时间

(4) 其他本酒店认为有必要的事项

2. 当住宿客人要使用旅行支票、住宿券、信用卡等代替现金的方法支付第 12 条所定费用时,需要出示在前项登记的各列事项。

(客房的使用时间)

第 9 条 住宿客人能够使用本酒店客房的时间为下午 3 点至第二天上午 10 点。但是,在连续住宿时,除了到达日和出发日之外,可以整日使用客房。

2. 不拘于前项的规定,本酒店可能会应承同项规定时间外的客房使用。在此情况下需要支付下记追加费用。

(1) 超时 2 小时以内时,追加费用为 1 人 1,000 日元

(2) 超时 2 小时以上时,当天住宿费用的 100%

(遵守使用条款)

第 10 条 住宿客人在本酒店中,请遵守本酒店所定的在本酒店中提示的使用条款。

(营业时间)

第 11 条 本酒店主要设施的营业时间如下所示,其他设施等的详细营业时间将通过配备的册子、各处的标识、客房内的服务指南等进行说明。

前台/前台服务 24 小时

餐厅营业时间 早餐 7:30—9:00、晚餐 18:00-22:00(最晚入店 19:00)

2. 前项时间,在迫不得已的情况下可能会临时变更。如果发生这种情况,我们将会用适宜的方法进行通知。

(支付费用)

第 12 条 有关于住宿客人需要支付的住宿费用等的明细,如附件表格第 1 所示。

2. 前项住宿费用等的支付,是在住宿客人出发之际或者本酒店要求支付时,以现金或本酒店认可的旅行支票、住宿券、信用卡等代替现金的手段,通过前台支付。

3. 本酒店为住宿客人提供客房,当客房准备完成可以使用时,即使在住宿客人自主决定不来住宿的情况下,也需要支付住宿费用。

(本酒店的责任)

第 13 条 本酒店在履行住宿合同以及相关合同当中,或因没有履行这些合同而给住宿客人造成损失时,本酒店将赔偿这些损失。但是,当这些损失是由不可归责于本酒店的原因造成时,则不在此限。

2. 本酒店为了对应万一可能发生的火灾等,加入了旅馆赔偿责任保险。

(无法提供合同中的客房时的处理)

第 14 条 在本酒店无法提供同住住宿客人签订的合同中的客房时,在征得住宿客人同意之后,将会通过交涉,为客人介绍条件尽可能相同的其他住宿设施。

2. 当本酒店在有前项规定下,仍不能为住宿客人介绍其他住宿设施时,将会支付给住宿客人相当于违约金金额的补偿款,补偿款充当损失赔偿金。但是,当无法提供客房的原因,是出于无法归责于本酒店的事由时,则不支付补偿款。

(寄存物品等的处理)

第 15 条 当住宿客人将物品或现金或贵重物品存放在本酒店前台,而发生灭失、损毁等损失时,除非是由于不可抗力造成的损失,否则本酒店将赔偿其损失。但是,对于现金以及贵重物品,本酒店要求客人明确告知其种类以及价值金额时,如果住宿客人没有进行告知,则本酒店将以 15 万日元为赔偿上限进行赔偿。

2. 住宿客人带入本酒店的物品或现金或贵重物品,没有存放在本酒店前台的,由于本酒店的故意行为或过失而发生灭失、损毁等损失时,本酒店将赔偿其损失。但是,对于住宿客人没有事先明确告知其种类以及价值金额的物品,除由于本酒店的故意行为或重大过失的情况外,本酒店将以 15 万日元为上限赔偿其损失。

(住宿客人的随身行李以及携带品的保管)

第 16 条 当住宿客人的随身行李比客人本人先到达本酒店时,仅限于在行李到达之前本酒店事先了解的情况下,本酒店会负责保管行李,在住宿客人来到前台办理入住手续之际归还。

2. 前项中本酒店对住宿客人的随身行李以及携带品的保管责任,依据前条第 1 项的规定。

(停车责任)

第 17 条 当住宿客人使用本酒店停车场时,不管是否托管了车辆的钥匙,本酒店只负责借出停车场,并不承担车辆的保管责任。但是,在停车场的管理中,由于本酒店的故意行为或者过失造成损失时,则承担赔偿责任。

(住宿客人的责任)

第 18 条 如因住宿客人的故意行为或过失对本酒店造成损失时,该住宿客人要向本酒店赔偿其损失。

(语言)

第 19 条 本协议由日文编写。如果同其他语言的翻译版本之间发生不一致或者存在某些矛盾,一切以日语版为优先。

附件表格第 1 住宿费用等的明细(第 2 条第 1 项以及第 12 条第 1 项相关)

		明 细
住宿客人需要支付的总额	住宿费用	基本住宿费用(房费+饮食) ※包含 10%服务费用。
	追加费用	①. 餐饮费用(包含在住宿费用中的情况除外) ②. 超时房费 ③. 其他自选服务使用费用 ※包含 10%服务费用。
	税金	消费税

备注

- (1) 基本住宿费用按照前台出示的费用表收取。
- (2) 儿童的费用为,对小学生及小学毕业之后的儿童,适用和成人同样的费用,对上小学之前的儿童(0岁~6岁),如仅提供寝具则每人 3,000 日元,不提供寝具则免费。

附件表格第 2 违约金(第 6 条第 2 项相关)

		取消住宿	当天	前一天	9 天前	20 天前
一般	14 名以内	100%	80%	20%	—	—
团体	15 ~ 99 名以内	100%	80%	20%	10%	—
	100 名以上	100%	100%	80%	20%	10%

备注

- (1) 表中所示百分比,是指对相对住宿费用(含税)的违约金比例。
- (2) 合同日期缩短时,不论缩短天数,需要交纳 1 天(第一天)的违约金。
- (3) 如您通过旅游代理预约,则按照各个旅游代理的住宿违约金计算基准产生违约金。
- (4) 如果住宿契约之上附有特殊条款的话,我们将优先遵循特殊条款规定。